

「ていたん」と「ブラックていたん」の「脱炭素社会の実現」

1 あんなのかわい〜？

2 もちろんあるよ！！

3 なるほー！

4 さっすく口開けい！！

2018年度のCO₂排出量の割合 (家庭部門、エネルギー別)

省エネ対応

効果的なんだね

ラインスタイルの

見直しにも取り組もうね

脱炭素社会の実現に向けて

KitaQ Zero Carbon

北九州市では、市民の皆様との協働・共創によりゼロカーボンシティの実現を目指す「KitaQ Zero Carbon」プロジェクトを進めています。

Point 1 脱炭素情報を一元化して発信

ゼロカーボンシティ実現を目指す取り組みや、市民・企業の皆様に参加いただく各種イベントなどの情報を専用ポータルサイトで発信しています。



キタキューゼロカーボン 検索

Point 2 具体的なアクションの場を創出

脱炭素に寄与する具体的なアクションを実践する場として、セミナー・ワークショップを始め、企業・団体と連携した参加型イベントを企画・開催しています。



Point 3 アクションの見える化

アプリ「actcoin」を活用して皆様のアクションの見える化に取り組んでいます。



actcoinとは？

社会貢献活動に対して、独自のポイントを付与することで、アクションを可視化するサービスです。一人ひとりのアクション履歴がアプリ上で見える化されることで、さまざまなつながりを創出します。

ポイントをもらうまで 「ていたんプレスNo.70」を読んでアンケートにお答えいただくと、actcoinがゲットできます！



「脱炭素先行地域」に選定されました

脱炭素先行地域とは、地域の魅力の向上を通じた地方創生に資する脱炭素の実現の姿を示す優れたモデルを国が選定するものです。北九州市都市圏域と連携した北九州市の提案内容が、本年4月に「脱炭素先行地域」として選定されました。

- 【提案内容】**
- ▶北九州市都市圏域の公共施設と北九州エコタウンのリサイクル企業において、低コスト型の太陽光発電の導入モデルを構築
 - ▶構築したモデルを中小企業へ展開し、産業の脱炭素化と競争力強化につなげる
 - ▶風力発電や水素等の脱炭素エネルギーの拠点化や脱炭素なまちづくり、環境国際ビジネスの取り組みとも一体的に推進し、都市の魅力向上を図る

公用車の電動化を推進します

▶**公用車への電動車導入**
[2030年度までに、すべての一般公用車について、電気自動車等の電動車を導入する]ことを目指します。併せて、DXによって公用車の稼働率を高めることで、公用車の台数を見直します。

▶**電気自動車を活用したカーシェアリング実証事業**
北九州市と俵井筒屋との間で電気自動車のシェアリングを実施します。主に、平日昼間に稼働する公用車と、週末も稼働する企業の社用車をシェアリングすることで、電気自動車の低コスト導入モデルの構築を目指します。

お問い合わせ先 環境局グリーン成長推進課 ☎582-2286

プラスチック資源循環に関する新しい法律が施行されました

世界的に問題となっている海洋プラスチックごみ等の解決に向けて、令和4年4月1日にプラスチック資源循環に関する新しい法律が施行されました。プラスチックの資源循環は、プラスチックのライフサイクル全体において関わりがある、全ての事業者、自治体、消費者の皆様によるさまざまな取り組みにより実現します。ぜひ日々の生活の中で、「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」に、積極的なご協力をお願いします。

製品を作る事業者は、・・・プラスチックの使用量を減らす、再利用や再生利用をしやすいなど環境に配慮した設計をすること。

販売・提供する事業者は、・・・繰り返し使用ができる製品を提供するなど使い捨てプラスチックの提供方法について工夫すること。

市民の皆様・全ての事業者には、・・・プラスチックごみ等を抑制する、分別する、再資源化するなどの取り組みが求められます。マイバッグやマ

イボトルの活用などで、使い捨てプラスチックの使用を減らすなど、プラスチックごみ対策に、より一層のご協力をお願いします。

また、北九州市ではプラスチック製容器包装の資源化回収に加え、製品プラスチックについても、資源化回収へ向けての取り組みを検討しています。

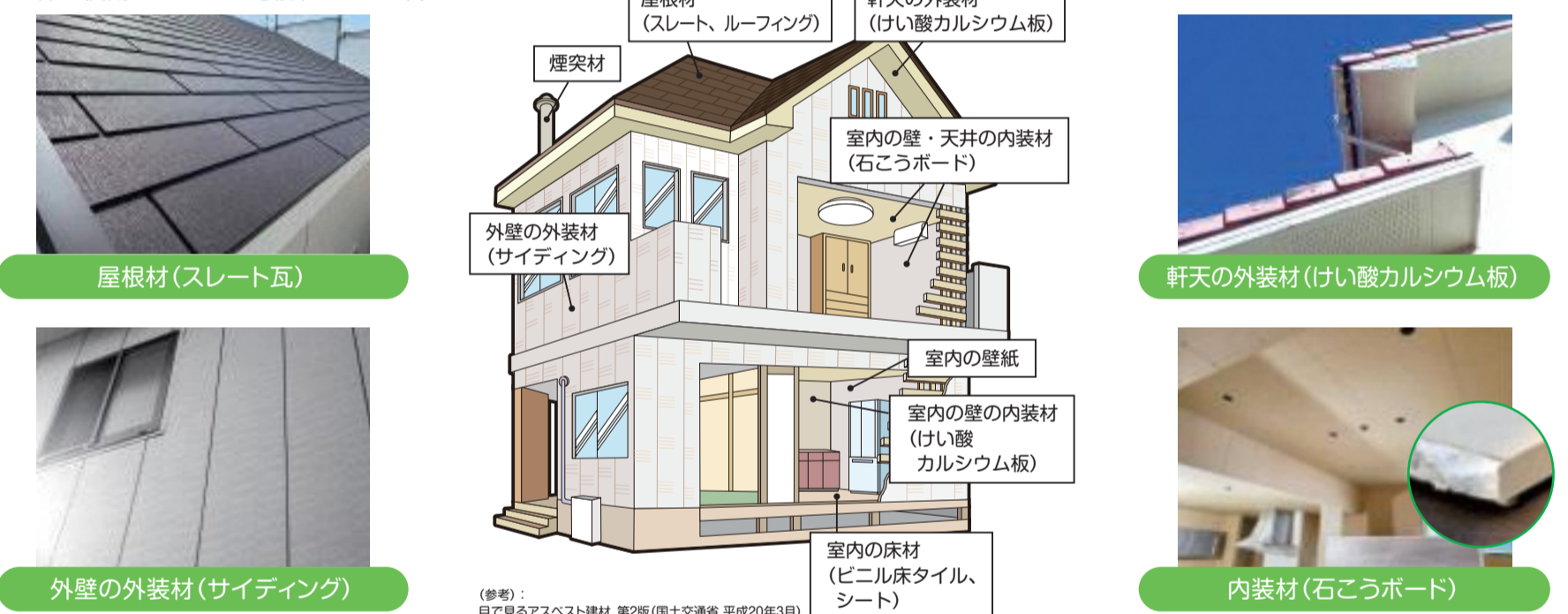


お問い合わせ先 環境局循環社会推進課 ☎582-2187

建物の解体、リフォーム等の工事を行う際は、石綿(アスベスト)が使われていないか事前に確認する必要があります

平成18年8月までに着工した建物には、石綿が使用されている可能性があります。工事を行う際は、請負業者や自主施工者が工事の対象となる全ての部位について事前調査を行い、石綿の使用の有無を確認する必要があります。

●石綿が使用されている可能性のある部位



石綿が使用されている建物の場合、工事の請負業者や自主施工者は、石綿が飛散しないように決められたルール(作業基準)を遵守する必要があります。解体やリフォーム工事を業者に発注する人は、適切な事前調査や工事ができるよう配慮をお願いします。

お問い合わせ先 環境局環境監視課 ☎582-2290

北九州市脱炭素電力認定制度

脱炭素に向けて先行的に取り組む市内企業を応援します！

【北九州市脱炭素電力認定制度】とは
北九州市が再生可能エネルギー100%電力を始めとする脱炭素電力を導入した市内企業を認定します。

認定企業へのメリット

- 認定ステッカーの提供
- 認定ロゴマークの名刺等への使用
- 北九州市が行っている各種助成制度における審査時の加算
- 北九州市事業に参画していることを条件とする低金利融資制度の適用
- 北九州市HPやSNSでの公開 など

※上記に加えて、先着100社については「脱炭素先進企業」として認定し、認定証を発行します。

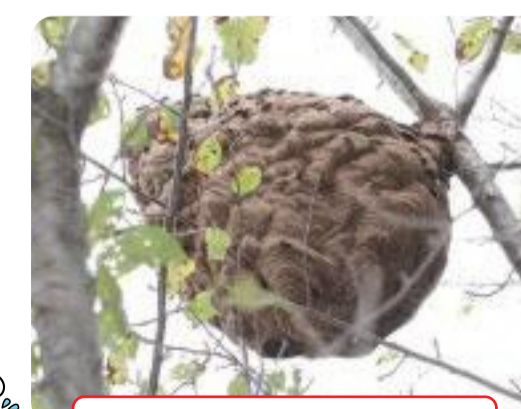
認定ロゴマーク、ステッカー(例)



お問い合わせ先 環境局再生可能エネルギー導入推進課 ☎582-2238

特定外来生物「ツマアカスズメバチ」にご注意ください！

令和4年5月に、特定外来生物「ツマアカスズメバチ」が福岡市及び糟屋郡久山町にて発見されました。北九州市内においても平成27年9月に発見されましたが、その後は確認されていません(継続して調査は行っています)。「ツマアカスズメバチ」は日本在来のオオスズメバチ等と比較して、特に人体に関わる被害が大きいこととはありませんが、在来のハチ等を駆逐し、生態系や養蜂業等に被害を及ぼすおそれがあります。



ツマアカスズメバチを見つけたら？

ツマアカスズメバチの個体や巣を発見された場合は、近寄らず刺激しないでください。また、発見場所等について下記の問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先 環境局環境監視課 ☎582-2239

エコクイズ 「ていたん」のECO-QUIZ



今回は令和3年度の環境首都検定から出題だよ！

問題 北九州市が目指す2050年の脱炭素社会(ゼロカーボンシティ)について正しいものは、次のうちどれでしょう。

- ① ゼロカーボンシティとは、全く二酸化炭素を出さないことである
- ② 北九州市は気候非常事態を宣言した後に、ゼロカーボンシティの表明をした
- ③ 「再エネ100%北九州モデル」では、全ての電力を風力発電でまかなう
- ④ 北九州市は2025年までに市が電気代を負担する市有施設の電気を再エネ100%にする

※解答は最後のページの下にあります。